

8.

文献収集・資料整理・
公開

▶ ジェンダー研究所収蔵文献・資料概要

40 年以上にわたって続けられている女性に関する文献・資料の収集

ジェンダー研究所は、文部省令の定める国立大学の学内共同教育研究施設として、1975 年に本学に設置された「女性文化資料館」を始祖としている。

「女性文化資料館」は、日本の教育機関の中で初めて、女性の文化的・社会的活動、その特性、風俗・習慣及び女子教育など、女性に関する文献や資料を広く収集し、研究者の共同利用に供することを目的とする資料館であった。

この資料館が発展・改組を重ね、今日のジェンダー研究所へと至る 40 年の間、女性学研究、ジェンダー研究の文献・資料の収集・蓄積は、絶え間なく続けられてきた。その成果として、2016 年度現在、ジェンダー研究所は、書籍約 25,000 冊、雑誌約 340 種という、女性に関する膨大な知の集積ともいえる蔵書を有するに至っている。これらの蔵書は、お茶の水女子大学附属図書館の専門コーナーに配架され、学内外から OPAC（Online Public Access Catalog）で検索することができ、手続きを経れば学外の者でも利用可能である。

■附属図書館専用書架での蔵書貸出・閲覧



《図書館利用案内》

○開館日

- ・ 月～金 8:45～21:00
（授業のない日は 17:00 まで）
- ・ 土 9:00～17:00
（夏・冬・春期休業期間中は閉館）
- ・ 日 12:00～17:00
（毎週ではありません。図書館カレンダーでご確認ください）

○閉館日

日曜日、国民の祝日、
夏・冬・春期休業期間中の土曜日、蔵書点検、大学夏季一斉休業日、年末年始、
微音祭当日、創立記念日、入学試験日当日、卒業式等

■お茶の水女子大学デジタルアーカイブズでの資料公開

<http://archives.cf.ocha.ac.jp/>

お茶の水女子大学デジタルアーカイブズでは、本学を卒業し、女性の先駆的研究者として活躍した保井コノ、黒田チカ、湯浅年子、辻村みちよの研究業績をまとめた資料目録などが公開されている。

これらの資料は、女性文化資料館時代の 1981 年の文部省特定研究「女性高等教育とその成果に関する総合的研究」における 2 つのプロジェクト、「Ⅲ婦人研究者の活動状況に関する調査研究—自然科学分野を中心に—」「Ⅳ女性文化に関する文献・資料の収集及び調査研究」の中で、それぞれのご遺族の協力を得て収集した遺品のうち、研究関連のものを整理し、長い時間を掛けて目録化したものである。(デジタルアーカイブズ化は 2007～2009 年に実施)



■2016 年度 寄贈図書・資料（敬称略）

2016 年度は、以下の書籍・資料の寄贈を受けた。[寄贈者名『書名』（著者名）]

仙波由加里『諸外国の生殖補助医療における法規制の時代的変遷に関する研究：平成 27 年度厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業』（日比野由利編）

早稲田大学ジェンダー研究所『ジェンダー研究／教育の深化のために：早稲田からの発信』（小林富久子、村田晶子、弓削尚子編）

昭和女子大学女性文化研究所『女性とキャリアデザイン 昭和女子大学女性文化研究叢書 第 10』（昭和女子大学女性文化研究所編）

ジェンダー研究所『IGS Project Series 2. はたして日本研究にとってジェンダー概念は有効なのか』

国枝たか子『世界のダンス 2 百ヵ国を結ぶ舞踊文化』（国枝たか子編）

北海道大学大学文書館『北海道大学大学文書館年報』（北海道大学大学文書館編）

ジェンダー研究所『私たちは忘れない朝鮮人従軍慰安婦：在日同胞女性からみた従軍慰安婦』（従軍慰安婦問題を考える在日同胞女性の会（仮称）翻訳編集）、

ジェンダー研究所『韓国女性問題資料集 8 隠ぺいされた歴史に今こそ光を！「朝鮮人従軍慰安婦」』（在日韓国民主女性会翻訳）、

フェリス女学院『フェリス女学院 150 年史資料集 第 4 集 加藤豊世・布施淡往復書簡：明治期のある青春の記録』（フェリス女学院 150 年史編纂委員会編）

ジェンダー研究所『山川菊栄が描いた歴史：山川菊栄生誕 125 周年記念シンポジウム記録集』（山川菊栄記念会編）

ジェンダー研究所『アジアにおける再生産領域のグローバル化とジェンダー再配置』（国際移動とジェンダー研究会編）

ジェンダー研究所『「慰安婦」問題国連関連文書』（売買春問題ととりくむ会）

ジェンダー研究所『IGS Project Series 3. 特別招聘教授プロジェクト特集：マリー・ピコーネ』

ジェンダー研究所『世界を創る女神の物語：神話、伝説、アーキタイプに学ぶヒロインの旅』（ヴァレリー・エステル・フランケル著、シカ・マッケンジー訳）

ジェンダー研究所『IGS Project Series 6. 特別招聘教授プロジェクト特集：スーザン・D・ハロウェイ』

ジェンダー研究所『IGS Project Series 5. 家族、仕事、ウェルビーイングの国際比較』

ジェンダー研究所『中国のメディア・表象とジェンダー』（中国女性史研究会編）、

ジェンダー研究所『被爆 70 年ジェンダー・フォーラム in 広島「全記録」ヒロシマという視座の可能性をひらく』（ひろしま女性学研究所）

根村直美『ポストヒューマン・エシックス序説』（根村直美）

明石書店『「戦争体験」とジェンダー』（望戸愛果）

ジェンダー研究所『IGS Project Series 7 女性、宗教、暴力』

ジェンダー研究所『IGS Project Series 4. 特別招聘教授プロジェクト特集：アン・ウォルソール』

ジェンダー研究所 IGS Project Series 1 Choice and Consent in Prenatal Testing』

■蔵書・研究者に関する情報提供

附属図書館収蔵文献・資料のほかに、ジェンダー研究所内では、購入雑誌・寄贈雑誌の最新号、研究所の過去の成果刊行物、事業の記録、特別招聘教授執筆の書籍のほか、全国のジェンダー研究施設や男女共同参画団体の定期刊行物を閲覧することができる。

ジェンダー研究所では、研究者及びジェンダーに関心を持つ方々に、これらの文献や資料、研究所に蓄積された知識を広く活用してもらうため、メールや電話による外部からの問い合わせ、訪問依頼にも随時対応している。

